

決算特別委員会から市に対する提言

決算特別委員会として、令和7年度決算の結果を踏まえ、令和9年度の予算編成に生かすために以下の提言をまとめました。

1 持続可能な財政基盤の確立と歳入確保

- 既存の歳入確保策検証と民間活力を生かした多様な歳入確保策の研究・導入を進めること。
- 個人市民税普通徴収の滞納分析、SMS案内・多言語対応・特別徴収の適正化により収納率向上を図ること。
- 金利変動を踏まえた基金の検証・基準見直しを行い、使途や運用期間に応じて、安全・積極的な運用を検討すること。また、目標額を設定した「基金積立・取崩計画」を策定し計画的に予算措置すること。

2 ゼロカーボンシティの推進と自然環境の保全

- 緑地・農地保全、ごみ減量・リサイクル徹底、自然エネルギー拡充など、実効性のあるCO₂削減施策の予算確保に努めること。

3 防災・減災力の強化

- 災害時に確実に機能するよう、消防設備を一元管理して当初予算に反映し、計画的更新と消防力の安定維持を図ること。
- 民間協力での雨水流出抑制強化など含むハード面での整備拡充に加え、住民訓練や意識啓発などソフト面でも官民一体で内水氾濫対策を推進すること。

4 誰もが暮らしやすい都市基盤・公共空間の整備

- 地域輸送資源活用事業の検証結果を踏まえて、必要に応じて新たな公共交通施策を検討すること。
- 利用できない公園設備などについて、廃止ありきでない更新や、樹木伐採時の代替措置を含む緑の保全を進めること。

5 地域経済・文化の振興

- 企業立地調査結果を活用し、設備投資・人材確保・用地確保・生産性向上など、企業成長と市内経済活性化に直結する支援策の拡充を図ること。
- 文化財・歴史資料の保存・活用方針の検討と文化施設の利用促進を図り、歴史文化に触れる機会充実及び次世代継承を進めること。

6 市民に届く情報発信

- オンラインでの意見募集環境の整備や庁内横断連携、専門知見活用により、理解・利用につながる広報を充実させること。

7 子ども・若者を支える教育環境の充実

- 不登校・いじめ・自傷行為などの問題を未然に防ぐため、教育指導者に向けた「心の健康教育」に関する指導手法を実践できる取り組みを実施すること。
- 通学路整備や各種備品整備など、学校施設の充実を図り、安全・快適な教育環境を整えること。